



基本的な指の場所	1フレット	2フレット	3フレット	4フレット
	人差し指	中指	薬指	小指

ウクレレの4弦には、音の高いHi-G(ハイジー)と音の低いLo-G(ロージー)がありますが、通常は音の高いHi-Gが使用されます。



ウクレレのチューニング

ギターのチューニング

チューニングはとても重要です。購入後のウクレレや弦を張り替えた後は弦が伸びます。弦の伸びが安定するまで常にチューニングしましょう。

ワンポイント 弦がある程度安定するまで弦を軽く引っ張って伸ばし、チューニングを繰り返します。



石手はこの部分を弾きます。



ウクレレのチューニングは電子式チューナーで行います。800円~2000円程度と色々。

最近、無料のスマホアプリで十分です。「ウクレレチューナー」で検索して下さい。無料でも高性能なアプリがあります。

ウクレレの大きさと種類・糸巻きについて

ウクレレにはサイズによって4種類に分けられます。小さい順にソプラノウクレレ→コンサートウクレレ→テナーウクレレ→バリトンウクレレ。小さいウクレレは音も小さく、ボディが大きくなるにつれて音量も大きくなります。しかしながら、ウクレレ本来のサイズはソプラノサイズで、テナーサイズはプロのソロ演奏に使用されます。尚、バリトンウクレレは通常使用しません。ウクレレは、ハワイ語でuku(ウク)が蚤(のみ)、lele(レレ)が「跳ねる」です。小さな楽器を奏者の指が目まぐるしく動き回る様子を指していると言われていました。したがって最初に作られたソプラノサイズが本来の主流サイズなのです。ボディの形は、スタンダードボディ(ひょうたん型)やパイナップル型、ハイフレットの演奏がしやすいようにボディをカットしたようなカットウェイ型などと様々です。



画像左がスタンダードのストレートペグ。右がギアペグ。安価な糸巻きはチューニングが難しいです。初心者はギアペグの方が使いやすい。

ウクレレ購入のワンポイントアドバイス 安価なウクレレはフレットの作りが粗悪で音程がずれていたたり、糸巻きが粗悪でチューニングが合わなかったりします。初心者にはFamous(フェイマス)などの国産品1万~1.5万程度をお勧めします。価格は使われている材質で随分違いますが、ピッチ(音階)が合っているかどうか重要です。私は必ず試奏してピッチ(音程)を確かめてから購入します。ショップ店員は売りたい物を勧めます。信頼できる知人やウクレレ指導者などに選んでもらう事が一番失敗しないコツです。